

189(いちはやく) ちいさな命に 待たなし

11月は児童虐待防止推進月間です。

子どもは、自分ではうまくSOSを出せません。
「たすけて」「本当はつらい」のサインに気づいているのはあなたかもしれません。

ちょっと、気になるな
大丈夫かな…?

“心配な子がいる”という情報を誰かに伝えるだけで、救われる命があります。

地域や、支援機関から
ほんの少し、見守りの手が差し伸べられることは
その子だけでなく、
他のきょうだいや親にとっても安心にもつながります。



虐待を疑われた時は、迷わずお住いの市町村の窓口か、児童相談所、ダイヤル「189」にご連絡ください。

親子関係が煮詰まらないためのヒント

もういいかげんにして！ と我が子に思ったら...

がんばっていても、子どもはいうことをきかないもの。
発達障害をもつ子どものための手法
“**ペアレント・トレーニング**”が有効かもしれません。

こんなにやっているのに…
親が悪いっていの？



「なぜ、うちの子はこんなことをしたのだろう？」 ペアレント・トレーニング(ペアトレ)とは

- 子どもの性格や親子関係ではなく、**行動に注目**することで、効果的な対応を親が身に着ける手法です。
- 行動を起こす**きっかけ**、対応した**結果**を書き出し、**客観的に**見直します。
- **好ましい行動に注目する** (ほめる) ことで、望ましい行動を強化します。

“ペアトレ”で親子関係をチェンジ！

いいかげんにしなさい!
なんでちゃんとできないの!



いつも食事中に
ふざけて叱られるAくん

ペアトレ日線で チェック!



- テレビはついていませんか?
(**きっかけ**)
- どんな風に食べてほしいか、
行動で具体的に伝えてありますか?
(**きっかけ**)
- うまく食べている時にほめていますか?(**好ましい行動への注目**)

よく噛んで食べてる
さすが!

座ったまま
食べ終わってくれて
お母さん嬉しい!

次は?
ハンバーグをうまく
おはしで切れたね!

あなたの声掛けで
子どもは変わる!

